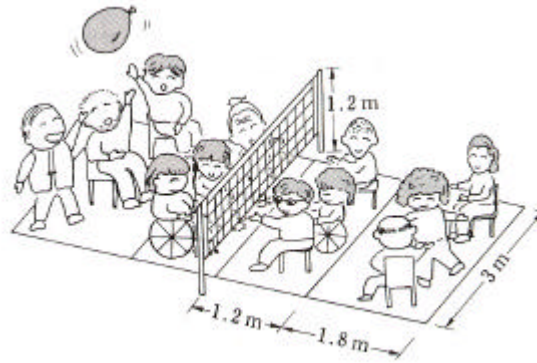


「風船バレーボール」競技規則

1 チーム 6 名からなる 2 つのチームが、コート中央に設けられたネットをはさんで、たがいに風船を打ちあって得点を争う。

・ 競技場と用具

- 1) コートは図の通りで、ラインの幅は 5cm を標準とし、コート内に含まれる。
- 2) ネット
高さは 1.2m を標準とし、バドミントン用ネットを利用する。
- 3) ボール
なすび型の風船で 40 × 25cm を標準とする。



・ チームと競技者

- 1) 1 チーム選手 6 名、交替選手 4 名以内、監督 1 名の構成で選手の 1 人はキャプテンとする。
- 2) 監督、キャプテンはタイムアウトと選手交替を要求できる。タイムアウトは 1 セット 1 回で 1 分、選手交替は各セットの開始時、タイムアウト時とする。

・ 競技者の位置と競技姿勢

前衛・後衛の各 3 名ずつの配置とする。競技姿勢は椅子坐位（車椅子）を原則とする。後衛は立位での競技も可能であるが、この場合両チーム同一条件とする。

・ 競技の進行

- 1) 主審の合図で開始する。コートチェンジは1セットごとに行うことを原則とする。
- 2) 得点は次の場合、相手チームの得点にする。
 - a) サービスを失敗した場合
 - b) ボールを相手コート内に返球できない場合。
 - c) 反則をした場合。
- 3) 競技の勝敗は1ゲーム3セット制とし、2セット先取したチームを勝ちとする。
1セットは15点でジュース制とする。

・ ボールの扱い

ボールは故意でない限り、椅子（車椅子）を含め体のどの部分を使ってもよく、何回でも打てる。
ドリブルやオーバータイムスの反則はない。

・ サービスの方法

サービスの本数は1本で、コート内の競技位置よりどの競技者が行ってもよい。前衛はアンダーサーブ、後衛はオーバーサーブを原則とするが、できない場合はゆっくりと投げ入れてもよい。
第一セットの最初のサービス権は代表のジャンケンで決め、それ以降は得点をしたチームがその権利を有する。第二セット以降の最初のサービス権は前セットを失ったチームが有する。

・ 反則

- 1) タッチネット
- 2) オーバーネット
- 3) ホールディング
- 4) 立位選手が前衛で競技した場合
- 5) 坐位選手が浮き腰で競技した場合

・ 審判員

審判員は、主審1名、副審1名、線審2名とする。主審は、競技の進行・判定に関するすべての責任を持ち、副審・線審は主審を補佐する。また、選手に事故がないように試合を運営する。